

新型コロナウイルスとインフルエンザの 同時流行に備えて

この冬は、新型コロナウイルスと季節性インフルエンザの同時流行の可能性が指摘されています。あらかじめ、神奈川県ホームページなどで、お子さんがコロナに感染した時などの対応を御確認ください。

中学生以上のお子さま及び保護者の方（64歳以下の方、妊娠していない方、基礎疾患等の重症化リスクがない方）につきましては、新型コロナウイルス抗原検査キットで自己検査を行い、陽性だった場合には、「陽性者登録窓口」への登録をお願いいたします。

外箱に「体外診断用医薬品」もしくは「第Ⅰ類医薬品」の表示がある検査キットや市販の解熱鎮痛薬の常備に御協力ください。「研究用」の検査キットの結果では、「陽性者登録窓口」に登録することができません。

<参考>

- 1 子どもがコロナに感染・濃厚接触者になった時の対応（神奈川県ホームページ）
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/child/index.html>
- 2 発熱診療等医療機関の検索
https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryu/yobosesshu/kansensho/coronavirus/hatsunetsu_iryu.html
- 3 陽性者登録窓口（神奈川県ホームページ）
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/ms/registration.html>
- 4 医療用抗原検査キットの取扱薬局リスト（厚生労働省ホームページ）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000082537_00001.html
- 5 その他、新型コロナウイルス感染症に関する情報
<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/koho/topics/covid-19/>

学校感染症（インフルエンザなど）にり患した場合、出席停止期間が終了しましたら、「治癒届」を提出していただくことになります。「治癒届」は学校に所定の用紙がありますので、担任の先生か養護教諭からもらうようにしてください（「治癒届」を記入するにあたり、医師の診断書等は必要ありません。保護者の方が記入してください）。

また、新型コロナウイルス感染症にり患した場合も医師の診断書等は必要ありません。必要な療養期間をとってから登校するようにしてください。

二酸化炭素濃度測定器（CO₂モニター）の設置について

横浜市立学校では、感染症対策の一環として教室の換気に努めています。

令和5年1月10日(火)から、各クラスの場所や場面に応じて、効果的な換気を行うことができるよう、全市立学校、全クラスに二酸化炭素濃度が測定できるCO₂モニターを設置しています。これにより「空気の見える化」が行われ、児童生徒の換気の実践や意識の向上を図り、安全・安心な学校環境につなげていきます。

また、保護者の皆様にも安全・安心な学校環境を知っていただくきっかけとして、各校に設置するCO₂モニターのうち4台をインターネットに接続し、全市立学校の二酸化炭素濃度等をWEBページに公表しています。

○ 実施概要

換気方法	クラス内の二酸化炭素濃度1,000ppm※を目安に換気に取り組みます。
対象	横浜市立学校全校（小・中・義務教育・高等・特別支援学校）
設置台数	全校（509校）全クラスに設置します。 各校の4台をインターネットに接続し、この4台分の情報が随時確認できるように専用のWEBページに公表します。
URL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/hoken/kuukimieruka.html ※川和中学校ホームページにリンクを貼っています。

※ 政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会において、学校でも「できる限り1,000ppm相当の換気等に取り組むことが望ましい」とされていることを踏まえた目安

○ 教室内の設置場所のイメージ

文部科学省から推奨の設置箇所が示されていることを踏まえ、二酸化炭素濃度が大きく変わらない窓などの開口部付近を避け、教室の形状に合わせて設置箇所を決めています。



時計の横に壁掛け

テレビ台や棚の上に設置

※ CO₂モニターは、インターネット接続タイプと非接続タイプの2種類のいずれかを各クラスに設置